

とうべつ

手にとって good 身近に



WEB 版はこちら

議会だより



No. 217

令和6年5月1日発行

CONTENTS

3月定例会

町長・教育長の執行方針に対する代表質問・・・・・・・・・・p. 2

- ・大学移転の影響と地域経済活性化
- ・企業誘致ゾーンを明確に指定して
- ・安心・安全、希望あふれる当別町へ

ウェルビーイング

Well-Being に生きる基盤づくり・・・・・・・・・・p. 6

令和6年度予算審査、各常任委員会、令和5年度補正予算審議

7人の議員が町の考えを質す・・・・・・・・・・p.13

- ・放課後の居場所づくりと養育費確保
- ・当別町国民健康保険税どう変わる
- ・利便性の高い西当別支所を
- ・地域の担い手不足の課題解決へ
- ・こどもの意見反映に向けた取り組み
- ・大学移転後を見据えた人口対策は
- ・町内施設の更新と災害対策



西当別支所が入る予定のサツドラ当別太美店（工事中）



動画はこちら

代表質問

会派清流

やま だ あきら
山田 明 議員質問の
ねらい

大学移転の影響と地域経済活性化

令和5年9月、北海道医療大学の北広島市移転方針が発表されて、本町の医療大学を対象としたまちづくりは、新たなまちづくりへの見直しが必要となると考えられる。本町の商店街やアパート組合への影響は大

きいが、令和6年度の町政執行に向けて、商工業活性化や当別町の魅力発信や誘客促進の施策、新庁舎建設など、どのように取り組みを進めるのか町長に伺う。

ここが
聞きたい

地域経済活性化への支援

問

地域経済活性化のため商工会等と連携し、自治体オリジナルポイントカード「当別 EZOCA ※1」の普及・利用促進を図るとのことだが、具体的にどのような取り組みを想定しているのか。

答

「当別 EZOCA」を活用し、町内経済を活性化する仕組みを構築していくため、商工会が行う当別 EZOCA 作成、アウルカードからの移行、利用者拡大のキャンペーン等を全面的に支援する。

ここが
聞きたい

駅周辺再開発プロジェクト

問

医療大学移転は公共施設全体の建替計画にも影響が及ぶと想定される。旧公民館の解体等、町主体での一体的な土地利用が難しいならば、民間による開発等を促す工夫も必要ではないか。

答

老朽化が進む公共施設は、官民連携も視野に集約・複合化を検討している。サツドラ内への支所設置などをモデルケースとして、引き続き、土地利用を工夫して地域活性化に取り組んでいく。

ここが
聞きたい

町の魅力発信と誘客施策

問

当別町はさまざまな観光資源や新鮮な農産物に恵まれている。それらのコンテンツを含む周遊コース構築など、観光協会等と連携して、事業をコントロールして進める体制を作るべきでは。

答

観光資源の掘り起こし、観光スポットの周遊コース構築など、観光分野の課題はまだ多くあると認識。観光協会等との連携を一層深めて、交流・関係人口増加に向けて取り組んでいく。



当別町産の野菜（ふれあい倉庫）

ここが
聞きたい

役場新庁舎の建設は

問

新庁舎建設の必要性について、町の考えは変わらないのか。大学移転等の影響から建設を遅らせるのはやむを得ない判断なのか。一度白紙に戻し、改めて新庁舎建設を検討するのか。

答

新庁舎が必要という考えは変わらないが、建築費高騰などの社会情勢から、時期を遅らせる判断はやむを得ないと受け止める。白紙ではなく、これまでの議論をベースに検討を進めていく。

ここが
聞きたい

医療大学移転への対応は

問

大学移転問題の発覚から、約半年が経過する中で、商工会やアパート組合の動きを踏まえ、町として今後どのように対応していく考えか。

答

商工会内の医療大移転対策検討委員会での議論や、町内の経営者等が組織するトーチが取りまとめる予定の提言等を踏まえ、関係団体と連携し、適切に対応していく。



※1 EZOCA…サッポロドラッグストアをはじめとする全道の提携店で利用できる北海道共通ポイントカード。

代表質問 会派緑風会 しまだ ゆうじ 島田 裕司 議員

質問の
ねらい

企業誘致ゾーンを明確に指定して

当別町は工業団地を有しておらず、企業誘致は町独自の優遇制度を活用して行っているが、企業誘致ゾーンを明確に指定して、計画性を持って誘致地区の集中と強化を図るべきである。誘致ゾーンを重点に、

地質、水質、地熱などの土地データの基礎資料を作成し、誘致に活用すべきである。また、企業の要求に即応できる土地情報などは、町が準備し対応できる体制にしておく必要がある。



動画はこちら

ここが
聞きたい

支所開設の周知と地域の声

問

(仮称)西当別支所の開設に関する地域への説明は。多目的スペースは、地域の声を生かして活用方法を考えるべきでは。

答

令和6年度の早い段階で、広報やHP、行政

推進員会議等を通じ、設置目的や新たに提供できる行政サービス等について、周知を図っていく。多目的スペースの活用方法や窓口対応の拡充については、地域の声を可能な限り反映させていく。

ここが
聞きたい

道の駅コンビニの相乗効果

問

道の駅内にセブンイレブンが開業して1年が経過するが、直営でコンビニを導入した効果はどうであったか。期待していたようなテナントへの相乗効果はあったのか。

答

令和5年度の各テナントの販売実績は、前年度比で増加しており、一定の相乗効果があったと認識。ただ、コンビニ自体は目標売上高に未達との報告を受けており、今後の推移を注視していく。

ここが
聞きたい

当別版 EZOCA

問

「当別EZOCA」を町、サツドラ、商工会で連携して作成、普及・利用拡大に取り組むとのことだが、どのようなメリットがあるのか。

答

EZOポイントをためている方が、当別町のお店を訪れる動機づけとなり、町内事業者の集客力や売り上げの向上を期待している。町内経済活性化の仕組みを構築できることが最大のメリット。

ここが
聞きたい

太美駅南側の整備

問

太美駅南側と道の駅をつなぐ町道17線について、総合計画の見直しに合わせて都市計画道路に加え、将来の人口増加対策のために整備を検討してはどうか。

答

都市計画道路とするには、太美市街地やロイズタウン駅周辺と一体となった道路網の形成が必要であるため、今後、これらエリアの人や物の移動等の推移を見ながら、検討を進めていきたい。

ここが
聞きたい

農産品の6次産業化支援

問

農産品の6次産業化に向けて、ジャージー牛乳やメープルシロップの生産加工など、まだ事業化に至っていない取り組みを支援するとのことだが、どのような支援を行うのか。

答

グラスフェッドミルク、メープルシロップなど特色ある商品の高付加価値化に取り組む生産者や事業者をマッチングする商談会を開催し、新たな商品開発や販路拡大につなげていきたい。



ジャージー牛

「ページの読みやすさ」について、アンケートにご協力ください。





代表質問 会派公明 佐々木 常子 議員

質問の
ねらい

安心・安全、希望あふれる当別町へ

北海道医療大学移転が決まり、さまざまな影響があるが、一つ一つ課題に取り組み、「安心・安全の当別町」を築くとともに、新たな発想で道を開いていくチャレンジも必要である。子どもから高齢の方まで、力を合わ

せ、新しい当別町を築いていきたいと思う。すでに、いろいろな方面からやる気のエネルギーを感じている。オール当別でこのチャンスを勝ち取りたい。

ここが
聞きたい

安心・安全な公園を

問 町内の公園には修繕を要する遊具が多くあるが、公園施設長寿命化計画、修繕の優先順位の見直しなど、当初計画を見直すことについて、どのように考えているのか。

答 本計画は、策定から10年が経過するため、令和7年度に改めて点検を行い、変更を行う。計画に基づかない都市公園等の施設整備は、引き続き、地域の声を聞きながら進めていく。

ここが
聞きたい

子ども未来課移管の目的

問 子ども未来課の町教委から町部局への移管は、こども家庭センター設置へ向けてのことと捉えたが、移管することで、どのような効果が見込まれるのか。

答 保健福祉課と子ども未来課が所管する妊産婦、子ども、子育て中の保護者の支援体制整備を一括して進めるため、移管を行う。こども家庭庁の施策への対応など一層の強化を図る。

当別町地域防災計画

<一般災害対策編>

令和6年2月改訂
当別町防災会議



詳細はこちら

当別町防災計画（令和6年2月改訂）

ここが
聞きたい

災害に強いまちづくり

問 コロナ禍で行われていなかった避難訓練を再開するとともに、一泊で行う避難訓練や冬の避難訓練も行っていく考えはあるのか。

答 令和6年度は、社会福祉協議会と共催で、子どもを対象に、1泊2日の防災キャンプを計画している。冬の避難訓練について、まずは冬期間を想定した図上訓練を実施したい考えである。

ここが
聞きたい

個別避難計画を進めるには

問 個別避難計画策定は、進んでいる自治会をモデルとして行うとのことだが、個人情報や支える側の高齢化等の課題が山積している。町が体制づくりを後押しする必要があるのでは。

答 計画は関係機関と十分に協議を行い策定していく。モデル地区で先行的に策定を進めるが、その過程で透析患者を含む災害時要支援者の避難方法なども具体的に検討していきたい。

ここが
聞きたい

希望あふれる当別町

問 保健事業と介護予防を一体的に取り組み、人生100年時代を支える町を目指すとのことだが、今後はさらに民間の力を加え、いくつになっても元気でいられる町へ町全体で取り組んでは。

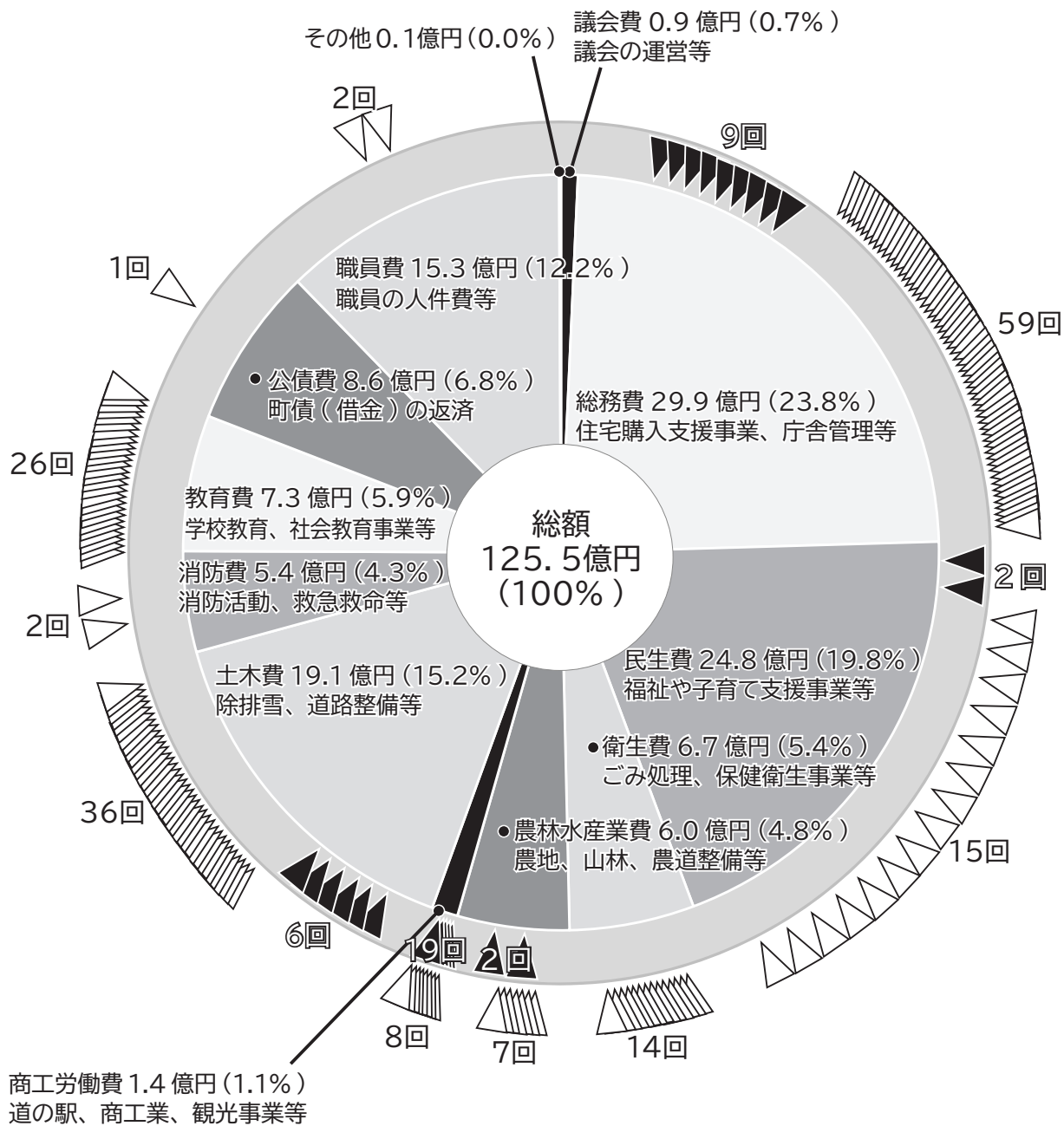
答 これまでも民間企業や関係機関と密接に連携するなど、町全体で取り組んできた。今後も地域福祉を効果的に推進するため、一層の連携を図りながら、積極的に取り組んでいきたい。



令和6年度 各会計予算審査

私達はここに注目しました！

一般会計歳出 ※一般的な行政にかかる経費の支出



▶ …代表質問で各会派代表者が質問したところ

▷ …予算審査で各委員が質問したところ

※△▲の数は質疑回数です。

「ページの読みやすさ」について、アンケートにご協力ください。



令和6年度当初予算、令和5年度補正予算

ウェルビーイング

Well-being に生きる基盤づくり

総務文教常任委員会(3/4・7)、産業厚生常任委員会(3/5・8)、予算審査特別委員会(3/13・14・15)を開催し、令和6年度当初予算や令和5年度補正予算に関する審議を行いました。

～特集～

これまでの議会議論と予算案

町は行政サービスを行うために、毎年予算案を作成します。その予算案を議会が審査し、承認してはじめて町は行政サービスを行うことができます。

予算案の作成は、町長だけが持つ権限です。町長が提案していない予算を議会が独自につくることはできません。

議会では、町民の要望などに基づいて議員がさまざまな提案を行い、一般質問や常任委員会の質疑を通じて町と議論を重ねています。

予算案は、町長が総合的に判断して作成しますが、議会議論の積み重ねがその予算案に影響を与える側面もあります。

令和6年度の当初予算の中にも、これまで議会で何度も取り上げられた内容について、盛り込まれたものが複数ありました。そこで今回は、その中から5つの事業を選び、これまでどのような議論が行われてきたのか改めてご紹介します。

これまでの 議会議論



提案された 予算案

「ページの読みやすさ」について、アンケートにご協力ください。



ウェルビーイング

Well-being…人々が身体的・精神的に健康であり、社会や経済も良好で満たされている状態を示す概念。

町外の特別支援学校への通学支援始まる！

これまでの議会議論



令和3年12月 一般質問



問 現在、当別町の移動支援では、通学は認められていない。一日も早く通学支援の充実を行うべきでは。



答 冬期間の送迎に関する保護者の負担軽減は、大変重要な課題と認識。移動支援の拡充や送迎バスの運行などが考えられることから、町教委と連携を図りながら、調査研究をしていきたい。

町外の特別支援学校へ通学する児童生徒への通学支援については、令和3年から令和5年まで、3回にわたり一般質問で取り上げられました。また、令和3年12月には、保護者から町へ通学支援を求める要望書の提出もありました。

町は、必要性を認識して要件の検討を進め、令和6年度予算案に、まずは中学生までの冬期間を対象とした通学支援が盛り込まれました。



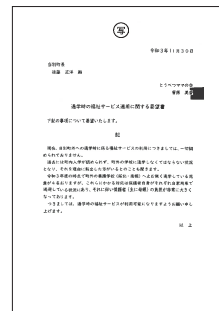
令和4年9月 一般質問



問 保護者は、特に冬の送迎に神経を使い、緊張の毎日を送っている。以前、支援について具体的に検討し始めているとの答弁があったが、現在の進捗状況は。



答 養護学校のバスや町独自の送迎バスは活用が困難。現状、町ができるのは移動支援拡充となるが、町外通学者に限定や一部自己負担設定など、費用や支援条件について引き続き検討していく。



詳細はこちら

令和3年に町へ提出された要望書



令和5年9月 一般質問



問 障がい児の通学支援について、2022年9月定例会以降の検討状況は。また、現時点で実現に至っていない理由は。

学年、地域、期間の設定や自己負担など制度設計について検討してきた。しかし、財政状況が厳しく、町全体の施策優先度や事業規模などを総合的に判断し、やむを得ず令和5年度の予算化を見送った。



答 現行制度での移動支援拡充として、対象とする



福祉車両

【当別町の通学者がいる特別支援学校】

- ・北海道拓北養護学校
- ・北海道星置養護学校 石狩紅葉山校舎
- ・北海道南幌養護学校

提案された予算案

- 障がい者に対する移動支援事業の対象を拡大し、通学支援を実施。
- 町外の特別支援学校に通学する中学生まで、冬期間に利用可能。
- 令和6年度予算額：230万円



高校生の通学費補助

これまで議会で行われた議論



令和3年9月 代表質問

問

子育て世帯から町外の高校に通学するための定期代が高額で負担となっているとの声がある。子どもの成長に応じたきめ細かな各施策について、どのような基準で優先順位を決めるのか。

答

子どもの成長に応じたきめ細かな支援の全てを充実させることは簡単ではない。まずは、子育ての不安の払拭につながる必要な支援を見極めて、判断していきたい。



令和4年9月 一般質問

問

当別駅で通学定期券が、4月には501件、5月には48件購入されたという。町外へ通学する高校生に交通費の助成を検討できないか。

答

人口増加に向けた集中的かつ戦略的な施策の展開について、庁内で横断的な検討を始めたところ。令和5年度の予算編成において、より効果的で魅力ある施策の立案に向けて取り組んでいく。

提案された予算案

- 高等学校等に通学する高校生等への通学費助成事業を新設。
- 月額1万円を超えた部分の2/3を補助（その他要件あり）。
- 令和6年度予算額：960万円

住宅の購入支援

これまで議会で行われた議論



令和3年12月 総務文教常任委員会

問

新築と建売が支援対象とのことだが、中古住宅を購入して大規模な改修をした場合は対象にならないのか。

答

今回はあくまでも建売住宅を含む新築住宅が対象。町内では中古物件が少ないため、新築物件に限り支援を行う考えである。



令和5年3月 予算審査特別委員会

問

中古住宅のリフォームなども対象とすれば、子育て世帯の呼び込みや定住人口増加につながるのではないかと。

答

令和7年度以降は、現行制度の継続を含め検討が必要。今後の住宅購入を取り巻く状況を見極めて、より効果的で効果的な移住促進策に取り組んでいく。

提案された予算案・条例改正案

- 新築住宅建築、建売住宅購入に加え、中古住宅購入も新たに補助対象に。
- 令和8年度まで期間を延長。
- 令和6年度予算額：6,000万円



子ども医療費の拡充

これまで議会で行われた議論



令和4年9月 一般質問



以前、子どもの医療費助成が移住促進の誘因となるようにしなくてはいけないとの答弁があった。今まさに子育て世帯の移住が進んでいるので、通院費も高校卒業まで拡大すべきでは。



子育て世帯が住み続けたいと思うポイントとして、育児負担軽減は重要な施策。この助成はその一つ。現在、人口増に向けて検討しているが、より効果的な施策を見極めて総合的に判断したい。



令和5年3月 一般質問



通院医療費は小学校卒業まで無料となるよう助成を行っているが、安心して産み・育てられるまちづくりに向けて、助成を高校卒業まで拡大するならば、社会人口が増えている今が最適では。



育児負担の軽減は重要な施策。国ではこども家庭庁を創設し、政策を強力に進めるとされているため、これらの施策の動向を注視して、効果的かつ必要な施策を見極めて、総合的に判断する。

提案された予算案

- 通院医療費の助成対象を「小学6年生まで」から、「高校卒業まで」に拡大。
- 保護者の所得制限を撤廃。
- 令和6年度予算額：3,270 万円

阿蘇公園の改修

これまで議会で行われた議論



令和4年3月 一般質問



公園施設長寿命化計画に基づく公園遊具等の整備に関する予算が、令和4年度当初予算に計上されていない理由は何か。



計上したい思いはあったが、町全体の予算配分を精査する中で、やむを得なかった。令和5年度の事業実施に向けて取り進めていきたい。



令和5年3月 一般質問



限られた財源の中で、事業に優先順位を付けた上での判断であると思うが、令和5年度予算で計上に至らなかった理由は。



財政状況が大変厳しい中で、町全体の施策の優先度、事業規模などを総合的に判断し、やむを得ず令和5年度の予算化を見送ったものである。

提案された予算案

- 阿蘇公園の修景池の改修工事を実施。
- 令和6年度予算額：6,300 万円



デジタル田園都市へ向けて



西当別支所が入る予定のサツドラ当別太美店



進む行政のデジタル化

当別デジタル行政サービス事業 8,748 万円



当別デジタル行政サービス事業として、電子申請やキャッシュレス決済システムの導入等とあるが、具体的な内容は。



役場と西当別支所のネットワーク構築のほか、

オンラインで証明書発行申請や施設予約を可能とするシステムや、電子決済対応の POS レジ、バーコード決済の導入などにより、利便性向上を図るもの。国から2分の1の補助を受けて実施する予定。

地域経済活性化の動き



「当別EZOCA」へ統合は

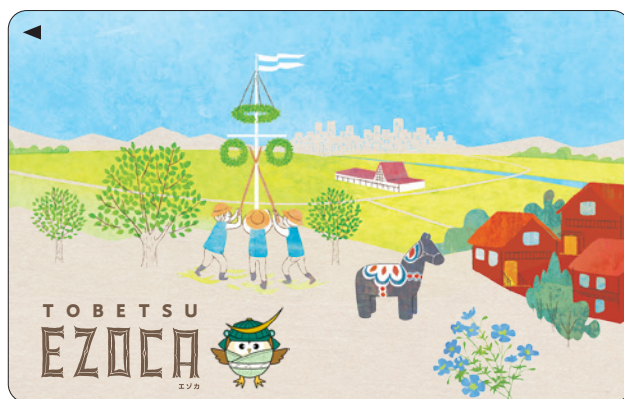
買物支援事業・地域生活サポート活動支援事業に係る審議



介護保険特別会計における買物支援事業などでは、サポーター活動に応じてポイントを付与し、商品券として還元しているが、このポイントは当別 EZOCA に統合されるのか。



配食サービス等の無償ボランティアへ付与するアウルカードポイントは、統合へ向け調整中である。買物支援事業等の有償ボランティアへの商品券還元についても、今後検討していきたい。



とうべつEZOCA（6月23日発行開始）

歯の健康をチェックしましょう



歯磨き指導用の模型



ワンコインで歯科健診を

成人歯科健診事業 41万円



歯周疾患の予防・早期発見のため、20 歳、30 歳、40 歳、50 歳、60 歳、70 歳を対象に成人歯科健診事業を行うとのことだが、歯医者へ行き、その場で申し出たら受けられるのか。



町に申し込んで受診票を受け取ったら、それを持って町内の歯科医院等へ行くという流れ。500 円の費用負担で歯科健診が受けられる。今後、広報や HP 等で周知を図っていく。



農業10年ビジョン 第1期から第2期へ



田植えの様子



目指す姿へ到達できたか

第2期農業10年ビジョン（素案）に係る審議



第1期農業10年ビジョンに、令和6年度の目指す姿とあるが、現時点でこの姿に辿り着いているか。評価と認識は。



各指標の達成度合いを見ると、完全に辿り

着いているとは言えない状況。目指す姿には、非常に高い目標を示しており、生産努力に加え、消費者からの評価等も必要となる。引き続き、長い目で目指す姿を達成できるようにしていきたい。



取り組みの効果と課題

第2期農業10年ビジョン（素案）に係る審議



新型コロナや水田活用交付金の見直しなど、外的な影響もあったが、第1期の取り組みで上手く進んだと評価している部分、逆に、より強化が必要と反省している部分はあるか。



農業関係団体と協議し、高収益作物の作付拡大や新規就農者呼び込み等で一定の効果があったと評価された。一方、農業所得が大きく伸びておらず、継続的な施策推進が必要と分析している。



甜菜の収穫の様子

子どもの心を守るために



子どもの心を迅速に把握

デジタル教育推進事業 759万円



不登校やいじめ対策として、WEBアンケート式心理テスト「WEBQU」を導入し、子どもの支援を行うとのことだが、なぜこの仕組みを選んだのか。また、導入学年や実施回数は。



これまでQUは紙で実施し、結果が出るまで1か月を要していたが、WEBであれば結果が瞬時に出て、生徒指導に迅速な対応が可能となる。全学年を対象に、年2回実施する予定である。



SSWの職責に見合う待遇を

スクールソーシャルワーカー報酬 202万円



SSW※1は会計年度任用職員やパートが多く、一般職採用が少ない。子や親が抱える問題を解決する重責を担うが、これだけで生計を立てるのは困難。町が会計年度任用職員待遇とした根拠は。



令和5年度の週3日勤務の予算をもとに令和6年度の週4日勤務の予算を計上した。金額が高くないことは重々承知しているが、規程の会計年度任用職員の単価を用い、募集をかけている。

※1 SSW…スクールソーシャルワーカーの略。児童生徒を環境面からサポートする社会福祉専門職。



ふるさと納税の維持・発展



ふるさと納税 返礼品カタログ



詳細はこちら



23億円を目指して

まちづくり基金寄付金（ふるさと納税）23億円



ふるさと納税は先が読みにくい状況であるが、令和6年度に23億円と予算計上した根拠は。



今後、総務省が規制強化を行う可能性もあり、右肩上がりで増えて

いく状況にはないが、町にとっては貴重な財源であるため、令和6年度も民間事業者のノウハウを活用するなど、寄付額増加に向けた取り組みを行い、3億円増額を目標として23億円を計上した。

～他にもこんな質疑がありました～



地域防災計画における福祉避難所



道の駅駐車場区画線更新工事



除雪情報管理システム整備事業



東町団地解体工事

『各会計予算案 原案通り可決』～予算審査特別委員会報告～

令和6年度各会計予算審査特別委員会



山田委員長

佐々木副委員長

予算審査特別委員会
インターネット動画配信



議会だよりに掲載していない
質疑の様子が見られます。

「ページの読みやすさ」について、アンケートにご協力ください。



一般質問

さくらい のりえ
櫻井 紀栄 議員

質問の
ねらい

放課後の居場所づくりと養育費確保

こども大綱が施行され、町でもこども計画が策定予定である。前回の議論でも多様化するニーズに沿ったこどもの居場所をつくる必要があるという共通認識は図れていると感じた。児童館機能がこども大綱でも

重要視されたが、こども計画に盛り込んでいくのか、児童館機能をプレイハウスに付随してはどうか伺った。こどもを社会全体で守り、健やかに育ていくために養育費の未納対策として立替制度について提案した。



ここが
聞きたい

児童館機能の必要性と今後

問

児童生徒同士が放課後に屋内で交流ができる環境整備が必要と考えるが、こども大綱を踏まえ、児童館機能の必要性はどのように捉えているか。当別町こども計画に盛り込む考えはあるか。

答

多様化するニーズに沿った子どもの居場所づくりが必要であり、町のこども計画においても、児童館の形にとらわれず、あらゆる視点で検討を進めていく考えである。

ここが
聞きたい

プレイハウスに児童館機能を

問

保護者の就労状況に関係なく、子ども同士が交流できる場として、プレイハウスに児童館機能を付随させることが、将来的な需要への対応手段の1つとなるのでは。

答

現行のプレイハウスへ児童館機能を付随させることはさまざまな課題があるが、今後、子どもの居場所づくりを検討する際に、一つの手段として考えられるものである。

ここが
聞きたい

子どもたちとの対話を

問

子ども目線の施設になっているか身近なルールや環境を問い直し、子どもの声を聴いて、それを実現することや、子どもたちと対話して政策を進めることを計画に盛り込むことは考えているか。

答

子どもとその保護者の意見を聞くことが大切だと考えている。意見集約にはさまざまな方法があるので、適切に行っていく。

ここが
聞きたい

養育費の立替制度を

問

養育費未払いとなった場合、受け取るべき人に対して立替払いを行い、支払い義務者に督促を行う自治体がある。町としてもこの制度を取り入れて、支援に取り組むべきでは。

答

本町における養育費立替制度の導入については、今後の国の政策動向や予算を注視し、本町の子ども政策の優先順位を見定めながら、総合的に判断していく必要があると考えている。



当別町図書館「ふくろう図書館」内部

ここが
聞きたい

駅前ビル計画はいつまでに

問

町民にも図書館機能が待ち遠しいという期待感と方向性が見えないという不安感が渦巻いている。どのようにいつまでに進めるのか。

答

民間事業者とは、事業を進める前提で協議している。当初計画からどのように変わるのか、令和6年度に協議を進めていきたい考えである。

「ページの読みやすさ」について、アンケートにご協力ください。





動画はこちら

一般質問

よしかた ゆき お
芳形 幸夫 議員

質問の
ねらい

当別町国民健康保険税どう変わる

町内2か所でデイサービスが休止となり、我が町の介護サービスの供給体制の低下が懸念されているが、対応策はどのように考えているか。基礎疾患を持つ高齢者と福祉・医療機関に勤務するエッセンシャルワー

カーには、新型コロナワクチン接種を無料とすべきではないか。低所得者にはプレミアム付きクーポンを一律支給すべきではなかったのか。国民健康保険税の「保険料水準の統一」などについて質した。



介護サービス（イメージ）

ここが
聞きたい

介護サービスの現状と課題

問 町内で民間事業者のデイサービスが休止となるなど、介護サービスの低下が懸念されている。町全体に影響すると考えるが、どのような対応策を検討しているのか。

答 休止中のサービスの早期再開、これ以上の休廃止が起こらないような対策が必要と認識。原因は総じて人材不足と聞いているので、町としては、人材確保支援を検討している。

ここが
聞きたい

コロナワクチン接種を要望

問 町内医療機関では、未だに新型コロナウイルスに係る診療が続く。基礎疾患のある高齢者や福祉・医療機関等のエッセンシャルワーカーが、コロナワクチンを無料接種できるよう支援すべきでは。

答 新型コロナウイルスワクチンは、予防接種法上、季節性インフルエンザと同等に位置づけられていることから、無料で接種については考えていない。



過去のワクチン接種会場（西当別コミュニティーセンター）

ここが
聞きたい

低所得者へクーポン支援

問 令和5年度、物価高騰を受けて、プレミアム付きクーポンの販売が行われたが、低所得者などには一律で支給する方法のほうが、より消費につながったのではないか。

答 物価高騰対策として、2回にわたり、住民税非課税世帯を対象に現金給付事業を行ったため、町全体に事業効果が波及する点を重視し、全世帯を対象にプレミアム付きクーポンを販売した。

ここが
聞きたい

保険料水準の統一

問 全道どこに住んでも、同じ所得、世帯構成であれば同じ保険料となるよう保険料統一が行われるとのこと、町では保険料が高くなると懸念されているが、どのような影響があるのか。

答 令和12年度の統一に向け、毎年保険税率を改定している。国民皆保険の維持には、保険料水準の統一が必要であり、被保険者にとって急激な負担増とならないよう配慮していきたい。



一般質問

やまざき こうじ
山崎 公司 議員

質問の
ねらい

利便性の高い西当別支所を

①2024年7月、太美出張所を西当別支所としてサツドラ当別太美店内に開設。職員配置や業務概要、地域に対する周知や住民の利便性について、②北海道医療大学の移転による給水収益への影響と今後の水道料

金について、③令和5年度全国学力・学習状況調査について、当初の当別町学力向上プランの目標が達成できたのか。また、学習状況調査にある生活習慣の傾向、これら3項目について質した。



動画はこちら

ここが
聞きたい

西当別支所の概要と周知

問 西当別支所の業務や職員配置について、現時点でどのように検討しているか。また、地域住民などへの周知はどのように行われるのか。

答 配置は正職員3名、会計年度任用職員2名を想定。業務は転入出やリモート相談など出張所より拡大することとしている。住民には、広報やHP、行政推進員会議等を通じ周知を図っていく。

ここが
聞きたい

西当別支所の利便性と環境

問 西当別支所内の多目的スペースの活用はどのように検討しているか。また、支所内へのATM、スウェーデン大通への横断歩道の設置は可能なのか。

答 町では期日前投票等の使用を想定。町民の利用についても地域の声を反映していきたい。ネット銀行の普及等からATMは設置されない。横断歩道は交通状況等を踏まえ、今後検討を進める。

ここが
聞きたい

今後の水道料金の動向

問 医療大学が予定通り移転した場合、学校・学生・職員等の水道使用量が減ることで、給水収益にどのような影響が出るか。水道料金が低いと聞けるが、今以上の値上げはないと認識して良いのか。

答 影響は想定しているが、水道を使う人数や水量は把握しておらず、大学は特定の法人のため具体的な数字は示せない。水道事業経営戦略の改定の中で、料金の在り方の検討していく必要がある。



水道で手を洗う様子

ここが
聞きたい

当別町の学力は

問 令和5年度の全国学力・学習状況調査の結果は。ICT機器は、授業や授業以外でどのように活用しているか。

答 小学校全科目、中学校英語が全国平均を上回り、中学校国語、数学は全国平均を下回ったものの差は僅かであった。ICT利活用は進んでおり、授業や教職員の業務に変化が表れている。授業外では端末の持ち帰りを週3回以上行い、家庭学習にも活用している。

ここが
聞きたい

しっかりと朝食を食べよう

問 学習状況調査で、朝食を毎日食べているか、毎日同じ時間に寝ているかなど、生活習慣はどのような傾向があるか。

答 小学生では、朝食の習慣、規則正しい睡眠習慣ともに改善が進んでいる。中学生では、就寝が遅い傾向から、朝食の習慣には課題が見られた。引き続き、家庭、地域と協力し啓発に努める。

「ページの読みやすさ」について、アンケートにご協力ください。





動画はこちら

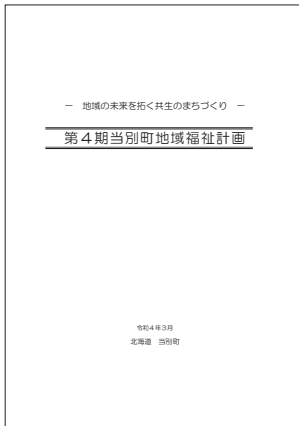
一般質問

いがらしのぶこ
五十嵐 信子 議員質問の
ねらい

地域の担い手不足の課題解決へ

当別町版地域包括ケアシステムは、地域包括支援センターが中心となり、令和7年を目標に地域特性に応じて構築するよう努めている。まちづくりは支え合いが最も重要であるが、地域の担い手不足の懸念もあり、解

決に向けた対策が必要と考え、課題の認識を質した。次に、街路灯等のLED化について、CO₂・電気料金の削減が見込める箇所は早期改修すべきと考え、今後の在り方や町内会補助金の見通しを質した。



第4期 当別町地域福祉計画

※概要版に地域包括ケアシステムのイメージ図があります。



詳細はこちら

ここが
聞きたい

地域住民の認識を高めて

問 当別町版地域包括ケアシステムの構築にあたっては、地域の主体性の下でその特性に応じて、地域全体で取り組む姿勢が重要である。関係機関との連携について、現状と課題は。

答 地域ケア会議で顔の見える関係性構築のほか、連絡調整会議で地域包括支援センター等と連携している。地域包括ケアシステムの理念やセンターの利用が、まだまだ浸透していないことが課題。

ここが聞きたい しっかり届く情報発信を

問 地域活動の担い手不足は、どのような活動か分からず不安であることも1つの原因。その活動に興味を持たれるように、意欲的な住民と協力して、これまで以上に情報発信を行うべきでは。

答 町内会役員で民生委員等を兼務している方が複数いることから、地域活動の担い手が不足していると認識。活動内容や重要性を発信して、興味を持たれるような環境づくりに努めていく。

ここが聞きたい 看取りの講座の開催を

問 今後、在宅で看取りを希望する方が増えていくと考えられるので、看取りに関する出前講座や共生型ボランティア養成講座の中で、学ぶ機会を設ける必要があるのではないかと。

答 これまでも終末に向けた情報提供の場を設けてきており、これからも進めていく考えである。情報提供は、高齢者ばかりではなく、それぞれの世代に合わせて、余す所なく行っていく。

ここが聞きたい 町内会街路灯 LED 化事業

問 早期に工事を行った町内会は、LED街路灯の交換時期が迫ってきている。今後の事業の在り方や、町内会への補助金の見通しは。

答 LED街路灯の更新に関する町内会への補助は、令和6年度予算に計上している。今後も地域の安全確保のため、町内会と確認を行いながら、支援に取り組んでいく。



LED化された街灯

「ページの読みやすさ」について、アンケートにご協力ください。



一般質問

さとう たつ
佐藤 立 議員

質問の
ねらい

こどもの意見反映に向けた取り組み

昨年4月に施行されたこども基本法は、全てのこどもに、年齢及び発達程度に応じて、自己に直接関係する全ての事項に関して意見を表明する機会が確保されることなど6つの基本理念を掲げている。また、地

方公共団体はこども施策を策定・実施し、評価にあたっては対象となるこども等の意見を反映させるために必要な措置を講ずるものとされている。そこで、当別町におけるこども等の意見の反映の進め方を質した。



動画はこちら

ここが
聞きたい

こどもの意見反映の対象は

問 こども等の意見を反映させる対象となる施策は、町政全般の多岐にわたるものと考えられるが、当別町において対象となり得る施策は何か。

答 こどもが関係する各種施策が対象となり得る。例えば、公共交通に関すること、公園や図書室など居場所に関すること、学校教育等に関すること、子育て支援に関することなどが考えられる。

ここが
聞きたい

声を上げにくいこどもには

問 こども等の意見の反映にあたっては、乳幼児や重度障がい児、医療的ケア児、不登校など、声を上げにくいこどもから、意見を聞く工夫や配慮も求められるが、どのように取り組むのか。

答 自分の考えや意思を自ら発信することが難しい子どもについては、保護者等の子の気持ちを理解している方から意見を聴取する方法を検討していきたい。



令和5年に整備された遊具（遊遊公園）

ここが
聞きたい

具体的な意見反映の方法は

問 こども基本法第11条では、こども施策の策定、実施、評価に当たって、こども等の意見を反映させるために必要な措置を講ずることとされている。具体的にどのような措置を講ずるのか。

答 紙媒体やウェブ形式によるアンケート調査、ワークショップ、オンラインディスカッションやSNSを活用した意見聴取などが考えられる。必要に応じて、こども等の声を聞いていきたい。

ここが
聞きたい

本人から直接聞く工夫を

問 声を上げにくい乳幼児や重度障がい児、医療的ケア児、不登校児童生徒などにも、意見を聞けるように最大限調整をしていくことが前提となると理解してよいのか。

答 年齢は達しているが、障がいがあるなど、言葉が発せられないなど、個々の状況によって違いはあると思われるが、基本的には、できるだけ意見を聞かせてもらうように考えたい。

ここが
聞きたい

インクルーシブな公園整備

問 年齢、性別、言語、能力等さまざまな個性や感性を持つ人々が、分け隔てなく一緒に楽しさを共有して遊べるというインクルーシブの理念を取り入れた公園施設・遊具の整備が必要では。

答 多様なユーザーのニーズを尊重した施設、遊具の整備は必要なものと考えており、今後の公園整備においては、誰もが安心安全に集える環境づくりを、地域の意向に配慮して進めていく。

「ページの読みやすさ」について、アンケートにご協力ください。





一般質問

あき ば しんいち
秋場 信一 議員

質問の
ねらい

大学移転後を見据えた人口対策は

当別町は、北海道医療大学の移転という新たな課題に向き合った「まちづくり」が求められている。町長のリーダーシップの下、移住・定住人口を獲得していくことが最優先であると考え、現状の取り組みにとど

まることなく、近隣自治体の政策を見据え、当別町の政策の優位性をより高めていくべきである。



末広団地（本人提供）

ここが聞きたい

未広団地の解体と跡地利用

問 未広団地は解体に向けて話が進んでいるが、現状と今後の構想は。解体跡地は、町の計画的にも宅地化を進めるべきと考えるが、土地所有者との協議などは進めていく考えか。

答 令和7年度の解体に向けて入居者の移転を行っている。跡地は、周辺未利用地を含めた土地利用が有効と考えるが、民有地のため、整備は所有者の意向を確認して行わなければならない。

ここが聞きたい

旧公民館などは解体すべき

問 旧公民館など用途廃止された公共施設や公営住宅が、町の景観イメージを落としている。企業誘致など有効活用に向けて、情報発信を急ぐ必要があるのでは。

答 用途廃止後の利活用が決まってい
ない公共施設
は、必要に応じて周辺の
地権者と協議を行い、民
間への売却も含めた利活
用について、あらゆる可
能性を排除せずに検討を
進めていく。

ここが聞きたい

町内事業者を守るために

問 人口の社会増を続けるには、町内事業者の継続や新規事業者の創業支援が重要。特に新規事業者向けの家賃補助や店舗改修補助の取り組みは、町の姿勢としてアピールしていくべきでは。

答 創業の方が町の特別融資制度を活用する場合、100万円を限度に元金補給を行っており、補助金に近い制度となっている。本制度を活用し創業した方もいるので、一層のPRに努めていく。

ここが聞きたい

民間アパートを町営住宅に

問 民間アパートを町営住宅として町が借り上げることを、町アパート組合も要望していると聞きますが、応えていく用意はあるのか。また、この場合、国の助成制度もあるようだが、適用できるのか。

答 現時点で町アパート組合から正式な要望は承っていないが、民間アパートを公営化して借り上げる賃料と入居者の家賃との差額について、国が補助する制度があり、町も適用可能である。

ここが聞きたい

町独自の消費対策を！

問 町内の消費喚起に向け、プレミアム付き商品券等で消費の町外流出を抑制する、囲い込み対策を継続すべきでは。

答 プレミアム付き商品券事業は効果が高いが、町単独の財源での実施は難しく、新たに予定はしていない。サツドラ太美店の開業により、購買力の町外流出に歯止めがかかることを期待している。



一般質問

かく た ひろすけ
角田 広佑 議員

質問の
ねらい

町内施設の更新と災害対策

アフターコロナを経て、交流人口や住民の外出機会が増加。公園への外出もそのひとつだが、遊具の修繕がなされておらず、危険な箇所も散見される。今後の更新計画について質した。新庁舎移転計画の見直し

がなされたことから、庁舎の環境整備について質した。能登半島地震では通信回線の途絶が、災害情報の収集・集約に時間を要したことが課題となった。災害時における町の通信手段確保の取り組みについて質した。



動画はこちら

ここが
聞きたい

公園遊具の修繕計画

問

新型コロナウイルス感染症が第5類へ移行し、家族で外出する機会も増えてきたが、公園遊具が修繕されておらず、危険な状態が見られる。早急に公園遊具の修繕・更新を行うべきでは。

答

遊具更新に係る公園施設長寿命化計画は策定後10年が経つため、令和7年度に改めて点検し、計画変更を行う。計画に基づかない都市公園等は、地域の声を聞き、計画的に進めていく。

ここが
聞きたい

インクルーシブ遊具

問

公園遊具の更新に当たっては、年齢や障がい等に関わらず、全ての子どもが遊べる「インクルーシブ遊具」を導入しては。併せて、災害対策機能も兼ねた「防災公園」として整備すべきでは。

答

遊具に関しては、多様なニーズを尊重して、誰もが安心して集えるような公園整備を進めていく。防災公園に関しては、地域防災計画と整合性を図り、有効性等を考慮して検討していく。



現在の当別町役場

ここが
聞きたい

現庁舎継続と環境改善

問

新庁舎建設検討委員会から「現庁舎の耐震補強に向けた検討が必要」との方針が示されたが、現庁舎で勤務を続ける職員に対する労働環境の改善も並行して進めるべきでは。

答

現庁舎の活用中は、新庁舎建設を見据えた中でも、職員の労働環境に最大限配慮するため、簡易的な冷暖房機器等を使用するなど、過大な二重投資とならないよう工夫を講じる。

ここが
聞きたい

災害時の通信手段確保

問

能登半島地震では、通信ケーブル破断や携帯電話中継基地局の停電により、現地情報の集約の遅れが課題となった。災害時の通信確保について、町はどのような備えをしているのか。

答

災害により通信障害が生じた場合は、町所有の衛星電話を利用し、道総合通信局から移動通信機器、移動電源車等を借り、通信手段確保のため、各種支援を関係機関へ要請することとしている。

ここが
聞きたい

電話ボックスの除雪

問

町内の電話ボックスの一部が雪に埋まり使えない状態が見られた。災害時の通信インフラを確保するため、電話ボックスの除雪について町の方針は。

答

電話ボックスの除雪はNTTが管理しているため、町としての対応は、特段考えていない。今後もNTTが状況に応じて管理するものと考えている。

「ページの読みやすさ」について、アンケートにご協力ください。



議会運営
委員会

七飯町・森町を視察

1/23・24 道内所管事務調査

七飯町と森町を訪問し、議員定数と報酬について研修を行いました。



七飯町議会にて

七飯町では、地方分権に対応した相応しい定数と報酬について議論を重ね、令和5年の改選から定数を4名減の14名とし、勤労世代が立候補しやすい環境を作ることが必要であるとして報酬を一律5万円増額としました。



森町議会にて

森町では、平成31年の選挙が無投票になったことを受け、定数と報酬について議論を重ね、令和5年の改選から定数を2名減の14名としましたが、報酬は現状のまま据え置きとしました。



研修の様子（森町議会）

そのほか、議会と議員の在り方、議員のなり手不足解消への取り組みなどについて意見交換を行いました。

令和6年第1回定例会

日程：3月1日～15日

◎：全員賛成 ○：賛成多数 ×：反対多数

結果

掲載ページ

傍聴 6名 議会中継視聴回数 2,732 回（4/19現在）

【専決処分】

当別町手数料条例の一部改正

地方公共団体の手数料に関する標準額が見直しされたこと等に伴い、当別町手数料条例を一部改正した専決処分の承認を求めるもの

◎

—

【補正予算】

令和5年度一般会計補正予算（第4号）

6億 8,106 万円を減額し、総額を141億 6,653 万円とするもの

◎

p. 5

令和5年度一般会計補正予算（第5号）

7,782 万円を増額し、総額を142億 4,435 万円とするもの

◎

p. 11

令和5年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

7,545 万円を減額し、総額を20億 7,189 万円とするもの

◎

—

令和5年度介護保険特別会計補正予算（第3号）

5,406 万円を増額し、総額を18億 5,600 万円とするもの

◎

—

令和5年度下水道事業特別会計補正予算（第2号）

5,561 万円を減額し、総額を8億 9,226 万円とするもの

◎

—

令和5年度水道事業会計補正予算（第2号）

資本的支出の建設改良費を 2,034 万円減額等するもの

◎

—

【条 例】

当別町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正

◎

—

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴う条例の一部改正

当別町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員等の基準及び介護予防のための支援の基準に関する条例の一部改正

◎

—

（※1）指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等の見直しに伴う条例の一部改正

当別町指定地域密着型サービスの人員等の基準に関する条例の一部改正

◎

—

改正理由は上記※1と同じ

当別町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営等の基準等に関する条例の一部改正

◎

—

改正理由は上記※1と同じ

当別町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営等の基準等に関する条例の一部改正

◎

—

改正理由は上記※1と同じ

当別町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正

◎

—

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に伴う条例の一部改正

西当別小・中学校エアコン設置工事請負契約について

◎

—

議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により、議会の議決を得ようとするもの

【委員会報告】

議会運営委員会報告

道内所管事務調査の実施について

◎

p. 20

【請願・陳情】

《令和5年第2回定例会（6月）総務文教常任委員会へ付託》
月形当別線バス「とべる号」運行に関する請願書

〔提出者〕金沢子ども育成会 会長 服部 実香、担当 隅田 陽子
〔紹介者〕当別町議会 議員 佐藤 立

※ とうべつ学園の部活動に合わせた時間帯での運行などを求めるもの

一部採択

p. 21 討論

「ページの読みやすさ」について、アンケートにご協力ください。



【請願・陳情】

《令和6年第1回定例会（3月）産業厚生常任委員会へ付託》
食料自給率向上を政府の法的義務とすることを求める意見書の採択を求める請願

〔提出者〕当別町農民同盟 委員長 堀 梅治 他4団体
〔紹介者〕当別町議会 議員 芳形 幸夫

※ 食料自給率向上を政府の法的義務とすることを求めるもの

《令和6年第1回定例会（3月）産業厚生常任委員会へ付託》
物価上昇に見合う老齢基礎年金等の引き上げを求める請願

〔提出者〕全日本年金者組合北海道本部 委員長 平川 敏雄 他1団体
〔紹介者〕当別町議会 議員 芳形 幸夫

※ 物価上昇に見合った老齢基礎年金等の引き上げを求めるもの

【令和6年度当初予算関係】

※下記の12議案は令和6年度各会計予算審査特別委員会へ付託

令和6年度一般会計予算

総額を125億5,055万円とするもの

当別町支所設置条例の制定

西当別支所を設置すること等に伴う条例制定

当別町手数料条例の一部改正

建築基準法の一部改正等に伴う条例の一部改正

当別町定住促進条例の一部改正

定住を目的とした住宅取得を推進するための条例の一部改正

令和6年度国民健康保険特別会計予算

総額を21億3,993万円とするもの

当別町国民健康保険税条例の一部改正

保険税率の改定等に伴う条例の一部改正

令和6年度後期高齢者医療特別会計予算

総額を3億1,286万円とするもの

令和6年度介護保険特別会計予算

総額を16億6,690万円とするもの

当別町介護保険条例の一部改正

令和6～8年度の介護保険料の改定等を行うための条例の一部改正

令和6年度介護サービス事業特別会計予算

総額を6,679万円とするもの

令和6年度水道事業会計予算

収益的収入総額を6億5,474万円等とするもの

令和6年度下水道事業会計予算

収益的収入総額を8億9,303万円等とするもの

令和6年度各会計予算審査特別委員会報告

付託された全ての案件を「原案のとおり可決すべきものと決定した。」と報告

※各会計予算審査特別委員会で審査し、委員会から本会議に報告

p. 5
p. 11

○ p. 12

討論

月形当別線バス「とべる号」運行に関する請願書

全部採択すべき 佐藤議員



子ども料金拡充は事業者負担に直結しない
中高生の子ども料金化が不採択とのことだが、中高生が子ども料金となれば、より気軽に利用してもらえるようになる。バス運行事業者の負担増に直結するものではない。

【賛否が分かれた採決の公表】

角	海	芳	櫻	佐	佐	西	五	山	秋	山	古	島	稲
田	野	形	井	々	藤	村	十	崎	場	田	谷	田	村
×	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。
※「○」は一部採択に賛成。「×」は一部採択に反対。

6月定例会のご案内

【予 定】

6月14日（金）～21日（金）

【内 容】

補正予算審議、一般質問など

※本会議や委員会の傍聴が可能です。

議会インターネット中継

本会議と常任委員会のライブ中継や録画配信をインターネットにより配信しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。



※ 決定次第ホームページへ掲載します。

各質疑の動画が見られます

各質疑の左上に、その質疑シーンが見られる二次元バーコードを載せました。検索せずに見られます。ご活用ください。

【注 意】

各質疑左上の二次元バーコードのリンク先は、当議会のホームページではありません。アクセス等により何らかの損害等が生じて当議会は一切責任を負えませんので、ご注意ください。詳しくは、当議会ホームページ「議会中継」－「注意（免責）事項」をご確認ください。

ご意見ご感想をお寄せください

議会だよりの編集について、ご意見・ご感想がありましたら、下記連絡先へご連絡ください。今後の参考とさせていただきます。

議会事務局
〒061-0292 石狩郡当別町白樺町 58 番地 9
TEL 0133-23-3247
FAX 0133-23-4474
E-mail gikai@town.tobetsu.hokkaido.jp

～ WEB アンケートも実施中～

読者 WEB アンケートを実施しています。各ページを評価するだけの簡単なものです。各ページの二次元バーコードから回答できます。今後の参考としますので、ご協力よろしくお願いします。



アンケートはこちら

※ 北海道電子自治体共同システムを利用しています。



議会のうごき（令和6年2月～4月）

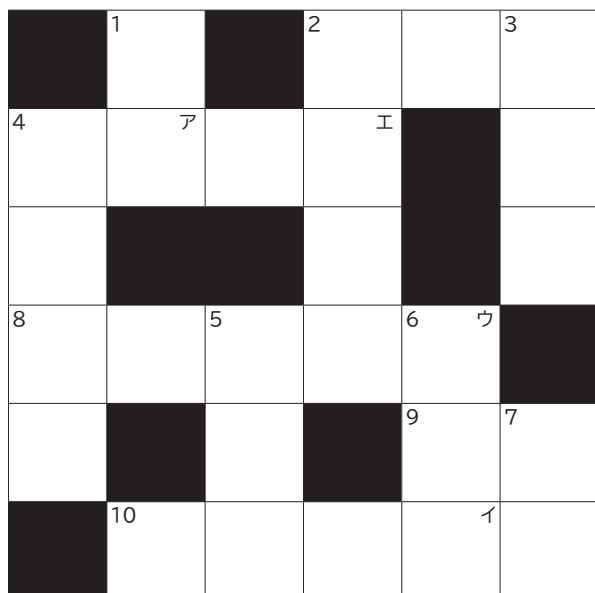
2月 6日	産業厚生常任委員会 町内所管事務調査 議会広報特別委員会	11日	第1回定例会
7日	総務文教常任委員会	12日	第1回定例会 議会運営委員会
16日	会派代表者会議	13日	予算審査特別委員会 産業厚生常任委員会
22日	議会運営委員会	14日	予算審査特別委員会
3月 1日	議会運営委員会 議員協議会 第1回定例会	15日	議員協議会 予算審査特別委員会 第1回定例会 議員協議会
4日	総務文教常任委員会		議会広報特別委員会
5日	産業厚生常任委員会	3月26日	議会広報特別委員会
6日	第1回定例会	4月 4日	議会広報特別委員会
7日	総務文教常任委員会	12日	議会広報特別委員会
8日	産業厚生常任委員会	18日	議会広報特別委員会

クロスワードに挑戦しませんか？

クロスワードに挑戦しませんか？タテのカギ、ヨコのカギをヒントにマス埋めて【キーワード】を導き出しましょう。右の二次元バーコードから、紙面アンケートにご回答いただくと、【キーワード】の答え合わせができます。紙面アンケートは、より良い紙面作成の参考とさせていただきますので、ぜひご協力をお願いします。



アンケートはこちら



～タテのカギ～

- 1 カゼをひくと痛くなります
- 2 英語で「回廊」の意味
- 3 春の花といえば？
- 4 京都発祥のつぶあんを包んだお菓子
- 5 春になると走り出す乗り物
- 6 「〇〇〇の炎」
- 7 地下水等を汲み上げるために掘った装置

～ヨコのカギ～

- 2 大陸から吹いてくる黄色い砂
- 4 浅瀬の海岸に生息する甲殻類の総称
- 8 ドイツ、ハンブルク発祥のステーキ
- 9 ハワイの伝統的な装飾品
- 10 当別町の姉妹都市

【キーワード】

ア	イ	ウ	エ
---	---	---	---

編集後記

元日に能登半島で地震が発生し、自然の脅威を目の当たりにした年明けとなりました。被災地の1日も早い復興を願っています。

さて、3月定例会では、各会派による代表質問、一般質問、令和6年度各会計予算審査特別委員会が行われました。「大学移転の影響」、「企業誘致ゾーン」、「安心・安全の希望

あふれる当別町」など、議員それぞれの「まちづくり」への思いが込められた質問が展開されたと思います。より良いまちづくりに邁進していけるよう、皆様のご意見、ご感想をよろしくお願いします。

議会広報特別委員会委員 芳形 幸夫

議会広報特別委員会

委員長	佐藤 立	／	副委員長	佐々木 常子	／	委員	櫻井 紀栄
委員	芳形 幸夫	／	委員	海野 学	／	委員	角田 広佑